

## 第2学年1組 国語科学習指導案

指導者 ○○○○○

1 日時・場所 令和6年(2024年) 9月 25日(水) 3校時 2の1教室

2 単元名 読んで考えたことを話そう  
 (教材名) 「どうぶつ園のじゅうい」光村図書 2年

### 3 単元・教材について

#### 【単元の目標】

- ◎文の中における主語と述語の関係に気づくことができる。(知(1)カ)
- ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思C(1)オ)
- 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知(2)ア)
- 時間的な順序を考えながら、内容の大体をとらえることができる。(思C(1)ア)

#### 【単元の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文の中の主語と述語の関係に気づいている。(1)カ ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	・時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)	・進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、これまでの学習を生かして、文章を読んで考えたことを友だちと話そうとしている。

#### 【教材の特性】

「どうぶつ園のじゅうい」は、獣医という動物にかかわる仕事について扱った教材である。動物とかわる仕事は児童にも人気の高い職業であり、動物園のイラストや、動物たちの写真が随所に登場するため、興味をもって読み進めていくことができる。また、本教材では獣医として働く「わたし」の視点で、朝の最初の仕事から動物園を出るまでの仕事が時間的順序に沿って紹介されていたり、「～からです」「～ので」といったわけを表す言葉が使われていたりする。時間的順序やわけを表す言葉は、「たんぼぼのちえ」で学習しているため、本教材でもそこに着目して進めていく。獣医の1日の仕事を読み取っていく中で、獣医の仕事について気になったことや初めて知ったこと、もっと知りたいと思ったことなどを友だちと交流したり、自分の体験と比べて考えたりすることを通して、考えを深めたり、新たな気づきを得られたりするようにしたい。

#### 【単元計画】(全12時間)

	主な学習活動 代表的な子どもの姿(・)	評価規準
第 一 次	①獣医さんがどんな仕事をしているか想像し、学習の見通しをもつ。 ・動物たちのけがや病気をなおすお仕事。 ・熱が出たときに薬を飲ませてあげる。 ・いろいろな動物がいるから大変そう。 ・言葉がわからないのに、どうして病気がわかるんだろう。	

	<p>②読んで感じたことから学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物園と動物病院の獣医さんは何か違うのかな。</li> <li>・獣医さんのお仕事についてもっと知りたい。</li> <li>・ボールペンどうやってとったの。</li> <li>・ほかにどんな動物の治療をしているのかな。</li> </ul>	<p>教材文を読んで「問い」を交流し、見通しをもって学習を進めていこうとしている。【態】発言・記述</p>
第二次	<p>③～⑥仕事の理由や工夫について話し合い、表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なぜかという」とって理由を説明する言葉がある。</li> <li>・薬を飲ませるのにたくさんの工夫をしているね。</li> <li>・「～のです。」って書いてあるから理由を言っている。</li> <li>・3人で抑えなきゃいけないなんて大変そう。</li> <li>・獣医さんの一日って大変そう。</li> </ul> <p>⑦筆者の一日の仕事をまとめ、その日だけの仕事と毎日の仕事に分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「毎日」って書いてあるね。</li> <li>・けがが治ったらお薬はいらないから、その日だけの仕事かな。</li> <li>・「必ず」ってあるから、お風呂は毎日入ってると思う。</li> <li>・ほかの動物の時はどうしているんだろう。</li> </ul> <p>⑧他の動物はどんな治療や工夫をしているか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尻尾から血をとるんだ。</li> <li>・血をとるのってちょっと怖いね。</li> <li>・注射をするとき眠らせているね。</li> <li>・痛くしないための注射もあるんだね。</li> </ul> <p>⑨獣医さんが治療するときの工夫を伝える。(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暴れてケガをするかもしれない。</li> <li>・大きいから踏まれちゃいそうで怖い。</li> <li>・たくさんいてどの子が病気かわからなくなそう。</li> <li>・毎日記録をつけることが大変だと思う。</li> <li>・動物病院と違うところがありそう。</li> </ul>	<p>時間的な順序や理由を表す言葉に着目しながら、内容を大まかにとらえている。【思】発言・記述</p> <p>文の中の主語と述語の関係に気づいている。【知】発言・記述</p> <p>共通・相違・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。【知】発言・記述</p> <p>文章の内容と自分の体験とを結びつけて感想を持っている。【思】発言・記述</p> <p>進んで文章の内容と自分の体験とを結びつけて感想を持ち、これまでの学習をいかして、文章を読んで考えたことを友だちと話そうとしている。【態】観察・発言</p>
第三次	<p>⑩動物園と動物病院の仕事について、共通することや違うことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物病院だと犬と猫が多い。</li> <li>・見回りをしないから、元気な時の様子がわからない。</li> <li>・動物園と違って、飼い主さんがいる。</li> <li>・獣医さんや動物病院の人に話を聞いてみたい。</li> </ul>	<p>学習を振り返り、学んだことをいかしてもっと知りたいことや聞いてみたいことを考えようとしている。【態】観察・発言</p>

<p>⑪看護師さんに質問する内容をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいこととか大変なことを聞いてみたい。</li> <li>・犬って怖がったりしないのかな。</li> <li>・動物病院で毎日やっていることってなんだろう。</li> <li>・病院ではどんな治療をしているのかな。</li> </ul> <p>⑫看護師さんを招いて質問する。</p>	
---	--

#### 4 児童の実態と《目指す児童の姿》に迫るための手立て

##### 【児童の実態】

- 教材文に興味・関心をもって読むことができる。
- 友だち同士の仲がよく、積極的に相手と関わり合おうとしている。
- 課題に対して興味をもって取り組むことができる。

- 文章を読むことに慣れていない児童がいる。
- 自分の思いや考えを書いたり話したりすることが苦手な児童がいる。



##### 《目指す児童の姿》(低学年ブロック)

自分の思いに向けて、自分の考えをもち、友だちとかかわろうとする児童



##### 【目指す児童の姿に迫るための手立て(単元を通して)】

###### ①「問い」を持って教材文を読む。

- ・教材文を読む前に、獣医という仕事について知っていることや想像したことを話し合い、「問い」を立てることで、獣医の仕事について自分の思いや考えをもてるようにする。(考える必然性)

###### ②教材文に出てくる言葉に注目する。

- ・本単元では、「朝」や「見回りがおわるころ」などの時を表す言葉や、「なぜかというところからです。」「だから～のです。」などの理由を表す言葉がたくさん出てくる。本文を読み進める中でこれらの言葉を取り上げ、児童がもった思いや考えの根拠にできるようにする。(考えの根拠の明確化)

###### ③話し合いの活動を通して、立てた「問い」について考える。(本時)

- ・単元の初めに立てた「問い」についてを話し合う中で、自分の思いや考えを深めたり、友だちとの考えの違いに気づいたりするなどして自分の読みを深められるようにする。(考えの共有化・考えの相違の自覚化)

###### ④動物園と動物病院の違いについて考え、動物病院の看護師への質問を考える。

- ・動物園の獣医がしていた仕事と、動物病院の獣医がしている仕事について共通していそうなことや違っていきそうなことなどについて話し合う。また、その中で生まれた気づきや疑問をもとに、動物病院の看護師へ聞いてみたいことを考え、質問内容をまとめる。



研究テーマ  
 学び合い、高め合う子どもの育成  
 ～自ら考え判断し学んでいこうとする児童の姿をめざして～

5 本時について（9／12 時間）

【本時目標】

獣医さんが治療するときのわけや工夫について考え、友だちに伝えようとすることができる。

【本時展開】

学習のめあてと活動 教師の関わり（○）、子どもの姿（・）	支援・留意点（・） 評価（○）【評価項目】／方法
<p>① 学習めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">○どんなちりょうをしているか、見つけよう。</div> <p>② グループごとに集まって資料から治療のわけや工夫が書いてあるところに線を引く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「から」って書いてあるから、これがわけじゃないかな。</li> <li>・わけだから赤い線を引こう。</li> <li>・えさを食べているすきに注射してるから、これが工夫かな。</li> <li>・あばれないようにたくさんの人で押さえているね。</li> </ul> <p>③ 線を引いたところをワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・えんぴつで線を引いたところは仕事のところに書くよ。</li> <li>・青い線は工夫していることだね。</li> </ul> <p>④ どんな治療をしていたか、お友だちと伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーターの治療ではこんな工夫をしていたよ。</li> <li>・この写真みたいにペンギンを筒に入れていたよ。</li> </ul> <p>○友だちから聞いて、気になった動物の治療はありますか。</p> <p>⑤ 本時の学習をふりかえり、次時の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・獣医さんの仕事って他にどんなことしているんだろう。</li> <li>・動物病院の看護師さんにこんなこと聞いてみたい。</li> <li>・動物園と動物病院で何が違うかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までにまとめた仕事の表を掲示して確認できるようにする。</li> <li>・「～から」や「～ため」などわけを表す言葉について確認する。</li> <li>・本時の学習のめあてや流れを確認して、全体の見通しを持つ。</li> </ul> <p>・同じ仕事同士で事前にグループ分けをしておく。</p> <p>○文章の内容から仕事やわけ、工夫が書いてある文に線を引くことができている。</p> <p>【知】 発言・記述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話型を用意し、交流の仕方に困っている児童に示すようにする。</li> </ul> <p>○文章を読んで考えたことを友だちと話そうとしている。【態】 観察・発言</p>